三心を磨く

学校だより No. 9
令和３年 12 月６日（月）発行
須坂市立東中学校
文責：嶋田 和美 （教頭）
http://www.azuma-school.ed.jp/

１１月の人権教育月間から

１１月は「後期人権教育月間」でした。人権について考える校長講話や、各学年の指導計画にそった学習が進められました。

１、２年生は、長野県同和教育推進協議会作成の「あけぼの」を活用し、部落差別をはじめとするあらゆる差別問題について考えました。3 年生は、須坂市手話サークルの皆さんと交流し、手話による「花は咲く」の合唱の練習を行いました。また、生徒会による「東中学校生徒会人権宣言」の取組があり、生徒昇降口には「葉」の形の用紙に、生徒一人一人の「マイ人権宣言」が書かれた「人権の木」が掲示されました。東中の人権教育月間は終了しましたが、須坂市人権教育強調月間は１２月２４日（金）まで続きます。引き続き、人権感覚を養う取組の充実を図っていきたいと思います。

１１月の校長講話

はじめに　～3 年生の福祉に関わる学びから

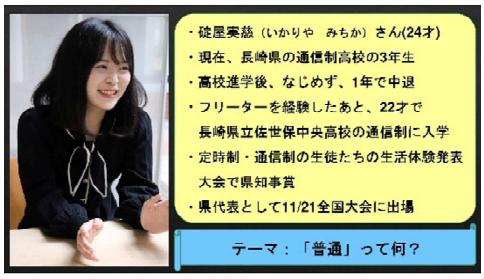
おはようございます。期末・総合テストが終わって一息つけましたか？テストは、自分自身の現状を知り、自分を振り返る節目です。点数に一喜一憂するだけではなく、テストを、自立した学び手になるためのきっかけにしてほしいと思います。

さて、スライドの写真ですが、３年生が何かを学んでいます。１・２年生の皆さんは、何を学んでいるのか分かりますか。３年生は、手話サークルの皆さんから、手話で歌う「花は咲く」を教えてもらっているのです。手話は、聞こえない人とのコミュニケーションをするための言葉です。東中は、障がいを知り共に生きるという理念の「信州あいサポート運動」において、学校という団体では、最初に「あいサポート団体」として認定されました。

毎年３年生は、福祉に関わる学びを通して障がいを知り、交流や体験を通して自分の生き方を見つめ考えてきています。来月には、全校の前で手話を交えた「小さな学校の大きな歌『花は咲く』」を発表してくれるものと思いますが、楽しみにしています。

最近私はドラマにはまっています。スライドの「恋です！ヤンキー君と白杖ガール」もその一つ。生きづらさを抱え、短気で喧嘩っ早いが、根は純粋なヤンキー君と、勝ち気だけど恋には臆病な盲学校の女子生徒が、目が見える普通と目が見えない普通を理解していくコミカルなラブストーリーです。いろいろな要素が織り込まれていて、楽しいだけでなく視覚障がいについて学んだり、考えさせられたりする場面も多いドラマです。今、後期人権教育月間ですが、ドラマを通して人権について考えることもできそうです。

『普通』って何？

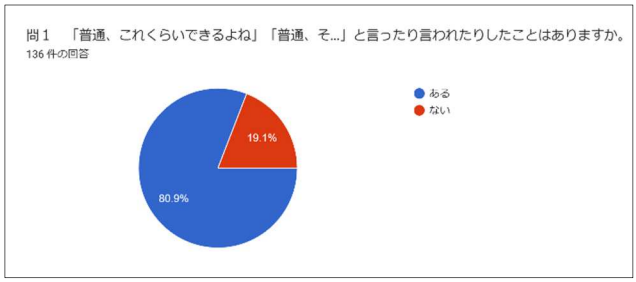


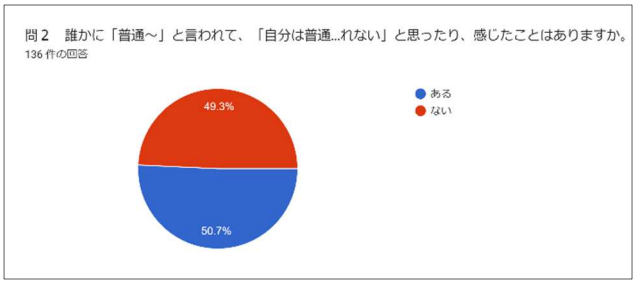
今月に入って、こんなニュースに接しました。現在、長崎県の通信制高校 3 年生の碇屋実慈（いかりや　みちか）さん(24 才)が、定時制・通信制の生徒たちの生活体験発表大会で県知事賞を受賞し、県代表として 11/21 全国大会に出場するというニュースです。中学を卒業して高校進学後、なじめずに１年で中退し、フリーターを経験したあと、22 才で　通信制に入学した碇屋(いかりや)さんが発表したテーマは、「『普通』って何？」。

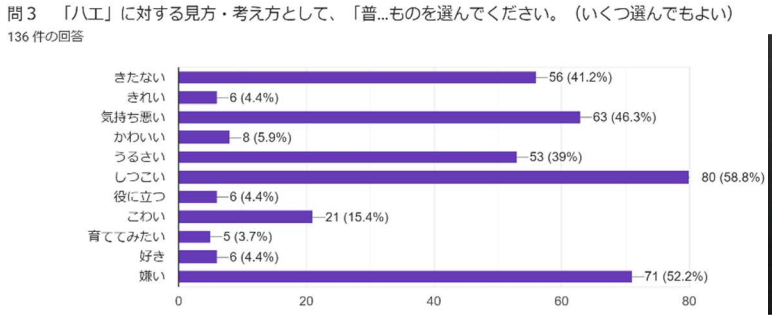
私はどんな内容なのか興味が湧いていろいろ検索してみましたが、残念ながら発表内容そのものには触れることができませんでした。でも、「『普通』って何？」が心に引っ掛かり、今日の校長講話のテーマにして、皆さんにも考えてもらいたいと思ったのです。

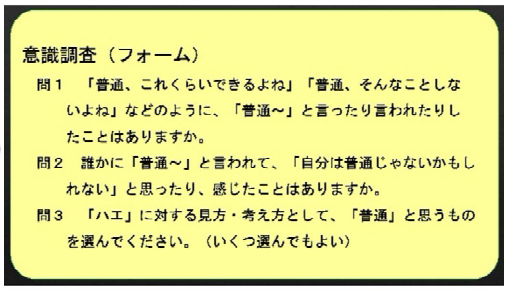
フォームによる意識調査

では、最初に、皆さんの意識調査をフォームで行いたいと思います。３つの問いがあります。問３はなんだこれって思うかもしれませんが、真面目に回答してください。時間は１分くらいでお願いします。





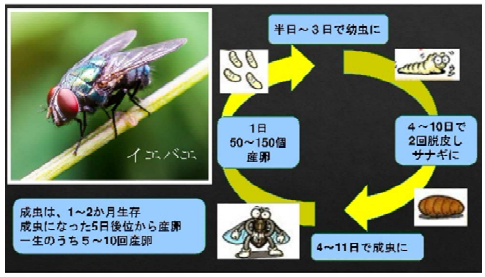




「きたない」「気持ち悪い」「しつこい」「嫌い」の回答が多い

ハエは役に立つ

問３の写真はイエバエと呼ばれる種類で、世界中、人間の生活環境で最も多く見られるハエです。イエバエは、成虫では、1～2か月生存し、成虫になった５日後位から産卵をはじめ、一生のうち５～10 回程度、１日に５０～１５０個の卵を産みます。半日から３日くらいで幼虫になり、４～10 日の間に２回脱皮してサナギになって、4～11 日で成虫になります。



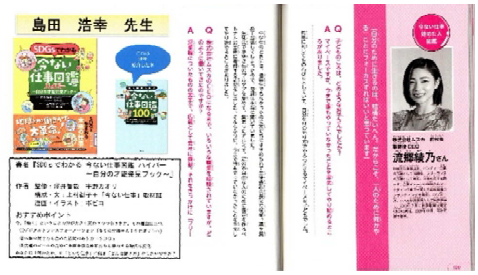
写真の女性は、流郷綾乃（りゅうごう　あやの）さん(31 才)です。28 才の時に株式会社ムスカ代表取締役 CEO（社長）に就任し、３年間 CEO を務め、昨年 11 月退任しました。

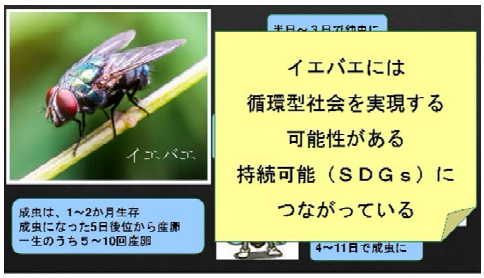
この流郷（りゅうごう）さんと先ほどのイエバエは、深い関係にあります。ちなみに流郷（りゅうごう）さんは、虫嫌いだそうです。

これは、流郷（りゅうごう）さんが CEO を務めた株式会社ムスカの経営内容です。食品廃棄物、牛や豚の糞尿などの有機廃棄物に、イエバエの卵をまきます。卵からかえった幼虫は、有機廃棄物を餌として消費し成長します。当然イエバエの幼虫は、餌を食べれば排泄をします。そして、有機廃棄物をたっぷり食べて成長した幼虫は、フリーズドライされて、栄養価の高い餌になり、魚などに与えられます。また、イエバエの排泄物は、栄養価の高い農業用肥料になります。ムスカは、優秀なイエバエを開発してこのサイクルを１週間で回し、世界の食糧危機と有機廃棄物問題を同時に解決しようとしているのです。

私が、流郷（りゅうごう）さんと株式会社ムスカのことを知ったきっかけは、この本です。図書館にあるので、是非読んでみてください。この本を読むまでは、私も皆さんと同じで、「ハエは役に立つ」は、私の「普通」には存在しませんでした。

ハエに着目している企業があること、多くの人がネガティブなイメージを持っているハエに、世界を救う大きな可能性があることに正直驚きました。そして、東中が取り組み始めたＳＤＧＳが双方の共通点であることにも不思議な感じがしました。



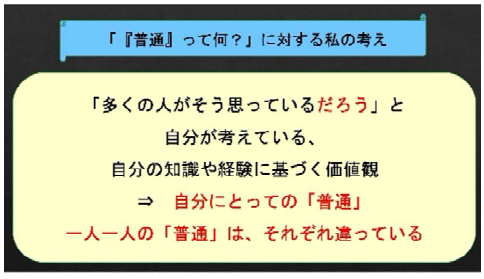


普通の基準は人それぞれに異なっている

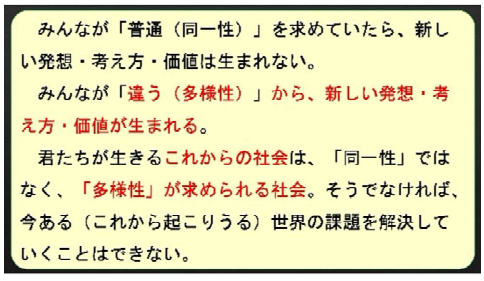
「音が聞こえない世界」「目が見えない世界」「ネガティブなイメージのハエに大きな可能性が秘められていること」など、「『普通』って何？」の視点で考えると、「自分にとって未知のこと・未経験のこと」は、自分の「普通」の外にあると言うことがわかります。

碇屋実慈（いかりや　みちか）さんは、ニュースの中でこんなことを言っています。「**普通の基準は人それぞれに異なっている**」「**多数派に属さないと幸せになれないなんて今は思いません。私は私だけの未来を形作っていきます。**」碇屋（いかりや）さんの言葉から想像すると、最初に入学した高校で、周りの「普通」に無理に合わせようとして、合わせなければならないと思って、心をすり減らしたのではないでしょうか。

今日の講話に向けて、「『普通』って何？」をいろいろ調べていたら、NHK for School の動画に出会いました。複数あるのですが、１つだけ見てみましょう。



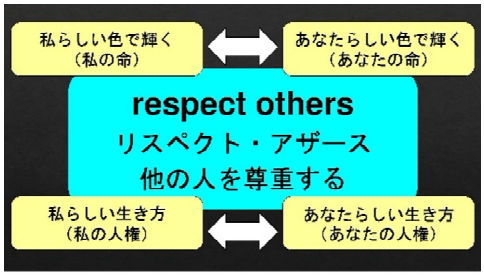
皆さんは、「『普通』って何？」と問われたら、どう答えますか？映しているスライドは、今回いろいろな情報に触れながら私が考えた「普通」です。あくまでも、私の考えです。なるほどと思う人もいるでしょうし、少し違うと思う人もいるでしょう。ぜひ、自分なりに「『普通』って何？」の答えを考えてみてください。



大事なことは、お互いを知り、リスペクトすること

今、あなたは、誰かの「普通」に無理に合わせていませんか？自分の「普通」をみんなに押しつけていませんか？

皆さんが生きるこれからの社会は、多様性が重視される社会です。だれにもでこぼこがあります。得意不得意があります。でこぼこがある者同士が協力するから、補い合ったり化学反応を起こしたりして、新たな発想、新たな考え方、新たな価値が生み出されるのです。得意なところはあなたの武器になるでしょう。でも、苦手なところが新たな発想・考え方・価値の種になるかもしれないのです。同じであること・普通であることは、むしろデメリットになることもあるのです。



皆さんは、一人一人違います。違っていなければおかしいのです。大事なことは、お互いを知り、リスペクトすることです。それがあって初めて、自分が輝けるのです。

最後に、クラスルームに参考動画のリンクを資料として投稿しました。特に NHK for School の動画は、ぜひ見てください。おわります。

令和３年度　全国学力・学習状況調査の結果より

５月２７日（木）に、全国の中学３年生・小学６年生が行いました「全国学力・学習状況調査」の結果が、８月３１日に公表されました。

２学期、本校の結果を分析すると同時に、対策をいたしましたので、その概要をお知らせいたします。尚、この調査により測定できるのは、学力の一部であり、総合的な学力を示すものではないことをご理解いただけたらと思います。

１　調査の概要

（1）調査対象　　◇中学校 第３学年　（本校の調査実施人数：５０人）

（2）調査内容　　①教科に関する調査　◯国語　◯数学

②質問紙調査　　◯生徒に関する調査

２　調査結果の概要

（1）教科に関する調査結果の概要

	国語	数学
全国との比較	同程度	やや下回る
長野県との比較	やや下回る	やや下回る

・上回る …＋3.0 以上　・やや上回る …＋1.0 以上～＋3.0 未満　・同程度 … 0.0～±1.0 未満
・下回る …－3.0 以上　・やや下回る …－1.0 以上～－3.0 未満　・同程度 … 0.0～±1.0 未満

国語、数学共に、県・全国平均を若干下回っているが、およそ差のない数値となりました。結果を受けて、生徒の実態についてより細かく検討し、苦手分野と各学年で学習している内容を照らし合わせながら、補充的な学習を取り入れ学習の定着を図っています。また、授業では、単元や内容のまとまりを大切にし、積極的に ICT を活用した授業を展開しています。さらに個別最適化を図るための授業の工夫にも取り組んでいます。

（2）生徒質問調査の結果（%）

質問項目	全国	長野県	本校
朝食を毎日食べていますか（「1.している」と回答した生徒の割合）	81.8	86.0	82.0
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について,家の人と約束したことを守っていますか（〃）	67.9	64.5	64.0
自分にはよいところがあると思う（〃）	76.2	75.3	76.0
自分の将来の夢や目標をもっている（〃）	68.6	69.1	68.0
学校に行くのは楽しいと思いますか（〃）	81.1	79.7	74.0
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。（学校の授業の予習や復習を含む）（〃）	63.5	60.7	62.0
1，2 年生のときに受けた授業で,コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか。（「ほぼ毎日」「週 1 以上」と回答した割合）	33.4	29.7	96.0
あなたは学校で、コンピュータなどの ICT 機器を、他の友達（生徒）と意見交換したり、調べたりするためにどの程度使用していますか。（「ほぼ毎日」「週 1 以上」と回答した割合）	34.8	35.2	90.0
普段（月曜日から金曜日),1 日当たりどれくらいの時間,スマートフォンやコンピュータなどの ICT 機器を,勉強のために使っていますか。（「1 時間以上」の割合）	19.5	16.7	12.0
学校の授業がよくわかる（国語）	80.1	81.3	80.0
学校の授業がよくわかる（数学）	74.6	76.5	84.0

ＩＣＴの学校での利用率が非常に高いことが、他との比較でよく分かります。本年度も須坂市のＩＣＴ実践校としてさらなる実践を重ねています。今後も積極的に活用していきます。

日頃から生徒を褒める、感謝を伝えることを意識して行ったり、生徒に役割を与えたりし、達成感をもたせ、自尊感情を高め、将来の夢や目標をもてる生徒を育んでいきたいと思います。

生活リズムや家庭での過ごし方について意識をしている生徒が比較的多く見られました。本年度より自分の生活に見通しがもてるように「生活のプランニング学習」を取り入れました。

数学への興味が高く、学ぶ意味を実感しながら取り組んでいます。学習問題・学習課題の設定、本時の振り返りを丁寧に行い、価値や意味を意識した学習への取り組みを継続していきます。